

## 令和5年度 第1回宗谷保健医療福祉圏域連携推進会議

○日時 令和5年(2023年)8月3日 18時30分~20時05分

○場所 稚内保健所2階会議室

○議題 1 地域医療構想等に関する説明会

2 地域医療構想推進シート・宗谷圏域の状況等について

3 病床機能変更に係る報告について

4 北海道医療計画宗谷地域推進方針令和4年度実績について

5 宗谷保健医療福祉圏域連携推進会議専門部会令和4年度開催について

○議事

議題1 地域医療構想等に関する説明会

(1) 保健福祉部地域医療課から資料1、資料1-2に基づき説明

### ◆地域医療構想に関する説明会

地域医療構想とは、全国の団塊の世代75歳になる年である2025年をターゲットイヤーとして、人口減少等を見据えて地域におけるバランスのとれた医療提供体制の構築することを目指すものである。当該構想では病床機能の見直し及び再編等に向けて各種報告等に基づく、「協議の場」である各医療圏で開催されている地域医療構想調整会議において検討等を行っている。また、今後は2040年に向けて、在宅医療等にも着目した構想も検討されている

また、「重点支援区域」として指定する医療圏では、地域における病院等に係る業務の連携を推進する制度である「地域医療連携推進法人制度」を活用し、道内でも設置している医療圏が増えつつある他、北海道地域医療介護総合確保基金(医療分)を活用などにより、地域の各医療機関の実態に合わせて、構想の推進をお願いしたい。

なお、国としては、外来機能の明確な連携の強化を目的に、紹介重点受診医療機関をはじめ、外来医療計画等に着手しているところであるが、宗谷圏域では紹介重点医療機関の役割を担う希望する医療機関はないが、制度の理解について協力願いたい。

### ◆医師の働き方について 特定水準の申請について

「医師の働き方改革」に伴い、令和3年(2021年)3月30日付けで道内各病院・有床診あてに特定労務管理対象機関の指定に係る指定申請方法について、道地域医療課より発出しているが、当該指定を受けるためには、令和5年度申請スケジュールに基づき、各種事務手続きが必要である。

指定を受けるにあたっては、特定水準を満たしていることを確認し、労働時間短縮計画(所謂「時短計画」)を作成した後、医療機関勤務環境評価センターからの評価結果から道へ指定申請する必要があるため、指定に向けて早期の準備をお願いしたい。

なお、特定水準の要件等については、厚生労働省『いきいき働く医療機関サポートWeb(いきサポ)』を確認する他、ご不明な点については、『北海道医療勤務環境改善支援センター』及び道地域医療課への問い合わせ等願いたい。

(2) 質疑応答等 (有・)

## 議題2 地域医療構想推進シート・宗谷圏域の状況等について

### (1) 事務局から資料 2-1、2-2、2-3 に基づき説明

#### ◆地域医療構想推進シートについて

「地域医療構想推進シート」については、令和4年度と同様に、2回目以降の当会議において、確認事項や、医療機関への意向調査の結果等を基に、令和6年(2024年)3月に開催予定の当会議において確定させる予定である。

#### ◆宗谷圏域の状況等について

必要予測機能別病床数については、2040年には約3万人まで減少すると予想されており、高齢化率は2020年で、約34%であったが、2040年には約42%と予想されている。

回復期病床数、2022年は125床となっており、2025年の必要病床は271床と推定されており、半分以下の病床数となっており、数値上ですが、2025年には回復期を病床が不足するとされている。

令和3年における圏域の国民健康保険、後期高齢者医療制度等の加入者受療動向については、宗谷圏域に居住する入院患者の17.42%が札幌、13.82%が上川中部、12.66%が上川北部等、宗谷圏域以外の圏域に約45%の方が入院していたとされている。

### (2) 質疑応答等 (有・)

## 議題3 病床機能変更に係る報告について

### (1) 枝幸町国民健康保険病院 柳事務局長から資料3に基づき説明

枝幸町国民健康保険病院では、令和2年度から専門コンサルタント会社に分析を依頼し、検討を進めており、令和4年3月には、付帯施設である、歌登診療所及び介護老人保健施設うたのぼり廃止している。

また、令和5年度末に60歳になる看護師が当院に多数いることから、大量退職を予想されるため、病床転換を行うとした。

病床数の変更内容と変更時期については、令和5年(2023年)10月1日に移行段階として、一般病床を46床から60床へ変更し、療養病床を37床から、23床へ変更し、合計病床数については、83床で変更はない。

今後の看護師不足による夜勤体制が、2病棟に対する維持困難と判断した時点で、一般病床を60床とする方向で考えており、療養病床廃止を判断して時点で、当会議において、改めてご説明する。

### (2) 質疑応答等 (有・)

## 議題4 北海道医療計画宗谷地域推進方針令和4年度実績について

### (1) 事務局から資料 4-1、4-2 に基づき説明

#### ◆がん・脳・心

がん・心疾患・脳血管疾患対策については、生活習慣病との関連性から、生活習慣病の予防を図るため、健康づくりに関する月間や週間に併せて、パネル展や健康づくりに関する事業を実施した。

#### ◆糖尿病

糖尿病については、市町村施策や取組の促進を図るため「第1回宗谷管内生活習慣病研修会」を開催した。

#### ◆災害医療

広域災害・救急医療情報システム(EMIS)に未入力であった病院に対し入力を促し、EMIS入力訓練における参加病院は、令和3年度は4病院であったが、令和4年度は全病院(8病院)の参加があった。

#### ◆在宅医療

在宅医療専門部会の開催につきましては、令和4年度の開催実績はないが、令和5年度については、在宅医療・多職種連携の推進に向け開催する予定である。

#### ◆感染症

新型コロナウイルス感染症対応として、9,060件の発生を探知し、対応を行った。

また、本年5月8日から感染症法上の第5類感染症へ移行されることに伴い、関係機関への周知・調整等も行い移行に備えてきたところである。

#### ◆難病

難病対策については、医療受給者証の申請事務関係が道本庁に集約されたが、住民からの問い合わせ等の対応や、申請のサポートを行った。

難病専門部会においては、「難病患者・家族のための災害時準備ガイドブック」を作成し、関係者や関係機関への周知をすることとしている。

#### ◆歯科

歯科保健対策については、介護保険施設等を対象とし、口腔ケア・誤嚥性肺炎予防に係る研修会「第1回 口腔ケア de 歯つらつ健ロライフ」と称し開催した。

### (2) 質疑応答等 (有・無)

#### ア 精神疾患の医療連携体制(質問者 消費者協会)

##### (ア) 精神障がい者地域生活支援センターの役割と実績について

(意見) 「精神障がい者地域生活支援センター」を設置しながら、家庭訪問実績においてのみの報告にとどまっているが、その役割と実績、特に、ピアサポーターの育成等について報告されることを期待している。

(回答) 精神障がい者地域生活支援事業は、道が『宗谷圏域精神障がい者地域生活支援センターゆかり』に委託し、精神障がい者が自立した社会生活及び日常生活が送れるよう、精神障がい者が地域生活を維持するために必要な支援を推進することを目的に活動している。

現在、精神疾患を患った経験者であるピアサポーターを現在宗谷圏域には4名が配置されており、精神保健に関する専門的知識と業務経験・人材を有する団体や、精神障がい者地域生活支援センター長との信頼関係のもと活動を続けている。

活動実績については、コロナ禍の影響により、活動は制限されているが、令和4年度では、退院患者の方への家庭訪問や、Webを活用した当事者団体との交流

会を開催した。

**(イ) 協議会等の設置について**

(質問) 協議会等の設置について、令和3年度は「協議会等の設置4市町村、今後検討6市町村」となっていたが、令和4年度は「協議会等の設置2市町村」となっているが、なぜか。

(回答) 管内協議会当設置数については、訂正する。

国からの調査結果から、管内の設置状況を確認していたが、改めて各市町村に確認したところ、実態に合わせた形での協議の場が、8市町村で開催されていた。

また、設置されていない市町村においても、個別のケース会議の開催等、必要に応じて支援を検討する場は設けていることが確認された。

**(ウ) 精神障がい者や家族の集う場**

(質問) 「精神障がい者や家族の集う場」についても、5か所から6か所への変更や、記載されている場所名が代わっていることについて説明願う。

(回答) 令和3年度に記載の『自立支援医療受給者家族の集い』については、浜頓別町で開催されていたが、令和2年度を最後に、活動休止となっており、また、『枝幸町ひだまりの会』につきましても、活動休止状態となっていることを確認したため、令和4年度の実績から除いた。

なお、『利尻富士町ひまわり』については、活動を新たに把握いたしましたので、追加した。

**(エ) 数値目標等について**

(質問) 計画作成時の数値が記載され、目標値は全道目標値と同一を掲げていながら、現状値が「算出不可」となっていることについての説明願う。

(回答) 数値目標については、計画時の数値及び目標値は、計画時の数値を一部地域の数値を抜粋したものとなっていたので、道医療計画や目標値と整合性を合わせるため、全道数値の方に修正する。

現状値についても、道医療計画では、厚生労働省の統計調査の結果をもとに、数値を定めているが、国の調査結果が公表されていなかったため、現状値は算出されていなかったため、道医療計画では、数値なしとして、横棒表記していた。については、道医療計画と合わせた標記に修正する。

**イ 災害医療体制(質問者 消費者協会)**

**(ア) 市立稚内病院に係る災害医療体制について**

(質問) 市立稚内病院自体が何らかの災害(地震、津波、土砂災害等)に遭い、想定している機能や役割を果たせなくなった場合、どのような体制になるのか。

また、代替体制はどうなるのか。

(回答) 市立稚内病院においては、災害時等に病院機能を維持できるよう、平成30年3月に業務継続計画(BCP)を策定して運用している。

**議題5 宗谷保健医療福祉圏域連携推進会議専門部会令和4年度開催**

(1) 事務局から資料5に基づき説明

◆歯科保健医療専門部会について

令和4年度の歯科保健医療専門部会については、令和4年(2022年)12月13日に開催し、事務局を含め15名の参加となった。

部会内容としては、令和4年度に稚内保健所が実施した歯科保健事業の状況説明と、宗谷振興局独自で行っている医療従事者の確保事業に、令和5年度から新たに歯科医療従事者の確保を加えるということについて、情報提供した。

協議事項としては、稚内歯科医師会、栄養士会、ケアマネ稚内会、保健所の『4者共催研修会』の実施結果と次年度以降の取組方法について協議し、市町村が実施する歯科検診関わる歯科医師・歯科衛生士の人材確保についても、苦慮していることが市町村から挙げられた。

また、口腔ケア・誤嚥性肺炎予防の研修会を開催したものの、定員に対して参加者が少ないという現状に対して、令和5年度以降の開催方法や内容、共催団体について、検討した。

◆難病対策専門部会について

令和4年度の難病対策専門部会につきましては、2月に1回開催し、難病患者・家族のための災害時準備ガイドブック及び宗谷地域推進方針に係る評価について協議した。

結果についても、難病患者・家族のための災害時準備ガイドブックについて、部会のなかでも承認され、その後の周知に取り組んでいる。

患者・家族の安心した生活には、制度理解も含めた支援者のスキルアップが重要であることが共有され、来年度から部会としても、研修会の企画検討をしていきたい。

(2) 質疑応答等 (有・)